

小中連携事業

3校で『あいさつ運動』を実施！！

本年度も、11月25日（月）～11月28日（木）に、3校合同の『あいさつ運動』を展開しました。これは、各校であいさつ運動を実施するとともに、中学生が小学校であいさつをすることで、小学生と中学生が自然にあいさつができるようにすることをねらいとしています。

当日は、登校時、神山小、末広小の校門でのあいさつ運動に中部中の生徒が加わり、あいさつの声により一層響きました。あいさつをきっかけにして笑顔が増え、気持ちが明るくなり、よい一日のスタートを切ることができました。また、この期間は、学校だけでなく家庭でも、「おはよう」「ただいま」「おかえり」「おやすみ」などのあいさつをするように意識して生活をしました。毎日顔を合せている家族ですが、あいさつを交わすことで、より家族の絆が深まったことでしょう。

あいさつ運動期間は終わりましたが、引き続き、元気なあいさつを通して、中部中校区全体の雰囲気明るくしていきたいですね。



～あいさつ運動を振り返って～

【児童生徒のみなさんの声】

- ・大きな声であいさつをすると気持ちがいいし、えがおですると楽しくなって続けたくなったのでこれからもやりたいと思います。あいさつは大事だと知りました。（末広小3年）
- ・あいさつをすると、朝から元気が出ます。あいさつをすることで相手も元気になれるといいなと思いました。（神山小5年）
- ・中部中の人にもあいさつができ、「相手の目を見てあいさつをする」というめあても達成できたのでよかったです。（末広小6年）
- ・小学生が元気いっぱいあいさつを返してくれて、うれしかったです。これからもあいさつが広がってほしいです。（中部中2年）
- ・あいさつ運動をきっかけに、「中部中向上宣言（ドリーム宣言）」に書かれている「A 明るいあいさつさわやかに」を今まで以上に意識できるようにしていきたいです。（中部中3年）

【保護者の声】

- ・あいさつは、家ではすごく大切にしていることです。毎日、しっかりあいさつができていたと思います。（神山小保護者）
- ・気持ちのよいあいさつができました。特に、「ただいま」「おかえり」のやりとりは、ほっこり、うれしくなります。（神山小保護者）

2学期の活動

ニュース&トピックス

このコーナーでは、中部中学校区の3校で行われた取り組みなどをご紹介します。



みんな なかよし 神山小学校



11月12日(火)に、わくわくがいっぱいの「なかよしフェスティバル」が開催されました。これは、毎年行われている児童会の行事です。2学年ずつでペアを組み、代表委員の児童が考案したクイズに挑戦しました。

「ボールコロコロゲーム」と「まと当てゲーム」では、低学年と高学年で投げる位置を変えており、「障害物リレー」では、人数ごとに目標タイムを設けるなど、みんなで盛り上がる工夫がなされていました。

こうした工夫があり、低学年の児童も高学年の児童もゲームを楽しむことができ、グラウンドに歓声が響きました。楽しい時間を一緒に過ごすことで、ペアの仲がより深くなったようです。

今年も、子どもたちは「笑顔いっぱい、元気いっぱい、学びいっぱい」の楽しい時間を過ごすことができました。



運動会、音楽公演会 開催！ 末広小学校

10月5日(土)に「もてる力をふりしぼり めざせ末広金メダル！」のスローガンのもと、運動会を開催しました。前日は雨が降り続き、開催が心配されましたが、無事行うことができました。日頃の練習成果を発揮したり、大きな応援の声に児童も奮起して頑張ったりする姿が見られました。



11月8日(金)Mentorsのみなさんをお招きし音楽公演会を開催しました。ピアノ・サクソ・クラリネットの3つの楽器を使って様々な曲を演奏されました。最後には校歌の演奏があり、普段とは違う校歌伴奏に児童たちも大興奮。演奏だけではなくサクソの重さクイズなどもあり、楽しい時間を過ごすことができました。



体育祭 中部中学校

10月16日(水)に「限界突破~憧れるんじゃない、越えるんだ~」のスローガンのもと、体育祭を開催しました。

今年度は、新たな試みとして3学年合同の縦割り学級による「群団制」を取り入れた応援合戦を実施しました。学級・学年の枠をこえて一つのものをつくり上げる経験を通して、生徒一人一人の主体性を育み、豊かな人間関係を築く力を身につけていくことを目的としています。

体育祭本番にいたるまで、実行委員を中心とした3年生が、強力なリーダーシップを発揮する場面を見ることができました。体育祭を終えて、1、2年生からは、失敗を恐れず新たなことに挑戦し、これからは自分たちが先輩として中部中を引っ張っていこうという気持ちの高まりが感じられました。

